

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リッケティル			
○保護者評価実施期間	2025/2/20		～	2025/3/20
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2025/2/20		～	2025/3/20
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/31			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われて、事業所の職員から共感的に支援を行なっている。	保護者からの評価及び職員の自己評価が高かった項目 定期的な面談に加えて、保護者や関係機関から相談や助言の申し出があった際は、積極的に会議などを開催し他機関と連携して、一緒に支援を考える機会を設けている。	児童への直接的な支援に加えて、保護者や関係機関への間接支援も重要視している。法人内で相談支援や保育所等訪問支援を提供しているので必要な場合は他のサービスと合わせて課題や不安に対応している。
2	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応している。		
3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行なっている。 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われている。	保護者からの評価及び職員の自己評価が高かった項目 こどものことを理解するための信頼関係作り→アセスメントを徹底する。細かくとったアセスメントを活用した実践できる支援計画をガイドラインに沿って立てることを意識している。	より専門性を高めるために今いる職員の質の向上に加えて、新たな職員の専門性も追加して常にアップデートしていく。 具体的には、行政の法定研修(児童発達支援管理責任者研修基礎実践、強度行動障害支者研修基礎実践、その他)への派遣や民間の研修システムの活用や国家資格取得の補助。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されている。非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている。	各マニュアルを作成しているが、保護者に説明する機会を設けていないため、保護者からの理解を得ていない状況にある。	各マニュアルを定期的に見直し、保護者への周知方法も考えていく。 また、避難訓練に関して避難訓練日に来所していない児童に関しても情報を届けたり、保護者にも協力してもらう形を検討する。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている。	事業所での家族支援プログラムは実施できていないことに加えて、研修会の案内等も情報が少なく提供が十分にできていない。	保護者に有益な情報を提供していけるよう外部からの情報収集に努めるほか、保護者が興味のある内容なども聞き取りしていく必要があると考える。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援	令和6年度は家族会を開催することができなかった。	令和7年度に家族会を開催できるよう、計画を立てて調整を進めていく。